

## 施工方法の取り組みについて

工事名 令和4年度糸魚川管内区画線設置工事  
 工事場所 糸魚川国道維持出張所管内  
 会社名 株式会社 クオンテック  
 発表者 牧野 修平

### 1 はじめに

本工事は糸魚川国道維持出張所管内の区画線を設置する工事です。  
 摩耗等で薄くなった区画線の塗り替え工事となります。(写真-1)  
 今回は施工に伴う器具の紹介、及び品質向上の工夫について報告します。



写真-1 塗替え 前



塗替え 後

### 2 概要

本工事は、区画線工事のため常に動いている状態での作業となります。外側線、中央線の幅を一定に保つため約4、50メートル毎にしゃがんで幅を測る必要があります。そこで少しでも作業員の負担と事故の危険性を減らすことができないか検討しました。(写真-2)



写真-2 作業中の幅確認

区画線の塗料は水性タイプが標準となっています。水性塗料は水に弱く施工時期の7月～8月は曇りや雨の日が予想以上に多く、とても不安定な気候でした。  
 雨で塗料が河川へ流れ出て水質事故の懸念がありました。

### 3 方法

#### ライン幅確認プレート取付

一目でライン幅が確認できるよう(写真-3) 幅15.5センチに設定した確認プレートを取付けました



写真-3 ライン幅確認プレート

黄色の部分は反射マグネットシートで作成

#### クイックドライ散布(ハードラインアクア21S Q D工法)

水性塗料と併用して塗布する工法です。突然の降雨に耐えるまでの乾燥時間を著しく向上させる効果があります(写真-4)

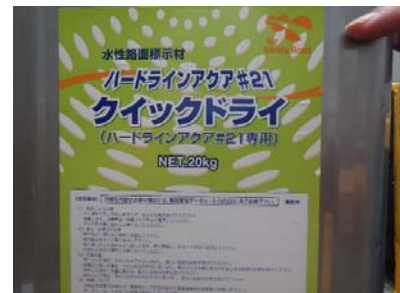


写真-4 クイックドライ投入

ハードラインアクア21S Q D工法			
	気温	S Q D	通常
乾燥性(分)	5	2~3	8~13
	23	2~3	6~9
耐降雨性(分)	5	10~15	60~120
	23	5~10	40~60

### 4 結果

ライン幅が一目で確認できたので、路面の凹凸にも素早く対応でき、かつ作業員の体への負担の軽減、中央線施工時における安全性を確保できました。

施工時期が7月~8月で天候が不安定で常に天気予報、湿度計、雷探知機を利用していたが、この工法のおかげで安心して作業に取り掛かることができました。

### 5 まとめ

区画線作業において、幅の確認は随時行っているが 今回の方法で作業の軽減ができた。また気候に左右されやすい水性塗料もこの工法を使うことにより安心して作業ができ、事故等もなく工事を終えることができました。